

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月12日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦

問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	137,502	2.6	7,623	6.6	7,871	4.5	4,374	4.5
2019年3月期第2四半期	133,987	4.0	8,159	33.1	8,243	32.9	4,578	32.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,773百万円 (5.1%) 2019年3月期第2四半期 2,924百万円 (36.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	21.91	
2019年3月期第2四半期	22.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	277,375	178,754	53.0
2019年3月期	287,106	179,795	51.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 147,067百万円 2019年3月期 148,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				18.00	18.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	284,000	2.4	17,500	1.7	18,000	2.0	10,400	0.1	52.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	201,699,743 株	2019年3月期	201,699,743 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,069,758 株	2019年3月期	2,069,706 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	199,630,017 株	2019年3月期2Q	199,630,369 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、連結業績予想の詳細及びセグメント別の業績予想につきましては、「決算短信補足資料」内(PAGE10/15～13/15)に記載しております。

当社は2019年11月14日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会終了後遅滞なく当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

○ 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、全体としては緩やかな回復が続くことが期待されますが、通商問題を巡る緊張の増大や中国経済の減速などにより、世界経済は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」のもと、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数もつことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高137,502百万円（前年同期比102.6%）、売上総利益53,033百万円（前年同期比100.7%）、営業利益7,623百万円（前年同期比93.4%）、経常利益7,871百万円（前年同期比95.5%）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,374百万円（前年同期比95.5%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎や清酒が減少しましたが、ソフトアルコール飲料は、引き続き好調に推移しましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料は、みりんの増加などにより増加し、原料用アルコール等では、工業用アルコールや酒類の原料用アルコールなどが好調に推移しましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、75,135百万円（前年同期比102.6%）となりました。売上原価は、45,586百万円（前年同期比103.3%）となり、売上総利益は、29,549百万円（前年同期比101.5%）となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や販売促進費などが増加し、27,467百万円（前年同期比102.3%）となり、営業利益は、2,082百万円（前年同期比91.5%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、Mutual Trading Co., Inc.（米国）などの海外日本食材卸事業が好調に推移し、海外酒類事業でも、ウイスキーや清酒などが増加しましたので、40,477百万円（前年同期比107.9%）となりました。売上原価は、28,994百万円（前年同期比110.1%）となり、売上総利益は、11,483百万円（前年同期比102.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが増加し、9,918百万円（前年同期比113.2%）となり、営業利益は、1,565百万円（前年同期比64.3%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬と受託サービスが増加しましたが、理化学機器が減少したこと、また前連結会計年度中に健康食品およびキノコにかかる両事業を譲渡した影響により、16,450百万円（前年同期比94.7%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、6,121百万円（前年同期比86.8%）となり、売上総利益は、10,329百万円（前年同期比100.1%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費などが減少し、7,293百万円（前年同期比94.8%）となり、営業利益は、3,035百万円（前年同期比115.7%）となりました。

[その他]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、物流事業などは増加しましたが、前連結会計年度中に宝ヘルスケア株式会社の株式を売却し、同社を連結の範囲から除外した影響などにより、15,770百万円（前年同期比98.1%）となりました。売上原価は、13,668百万円（前年同期比100.7%）となり、売上総利益は、2,101百万円（前年同期比83.9%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や広告宣伝費などが減少し、1,019百万円（前年同期比65.8%）となり、営業利益は1,081百万円（前年同期比113.3%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前年 同期比
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	26,779	24,976	93.3
清酒	8,400	8,302	98.8
ソフトアルコール飲料	19,686	21,744	110.5
その他酒類	3,185	3,259	102.3
酒類計	58,050	58,283	100.4
本みりん	6,469	7,197	111.2
その他調味料	4,659	5,140	110.3
調味料計	11,129	12,337	110.8
原料用アルコール等	4,079	4,514	110.7
計	73,259	75,135	102.6
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	5,044	5,433	107.7
海外日本食材卸	33,459	36,097	107.9
その他	36	179	496.9
グループ内連結消去	△1,013	△1,233	—
計	37,527	40,477	107.9
タカラバイオグループ	17,370	16,450	94.7
報告セグメント計	128,157	132,063	103.0
その他	16,071	15,770	98.1
セグメント計	144,228	147,833	102.5
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△10,241	△10,331	—
合計	133,987	137,502	102.6

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は161,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,872百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が6,533百万円、有価証券が8,953百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は116,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,141百万円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物などの増加により有形固定資産が6,174百万円増加し、無形固定資産が1,284百万円、投資その他の資産が748百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、277,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,730百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は53,245百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,576百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金5,269百万円、未払酒税が2,805百万円それぞれ減少し、固定負債からの振替により1年内償還予定の社債が5,000百万円増加したことによるものであります。

固定負債は45,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,113百万円減少いたしました。これは主に、社債が5,000百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、98,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,690百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は178,754百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,040百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が2,037百万円減少し、利益剰余金が855百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.0%（前連結会計年度末は51.6%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7,620百万円、減価償却費3,364百万円、たな卸資産の増加1,662百万円、仕入債務の減少831百万円、未払酒税の減少2,805百万円、未払消費税等の減少1,397百万円、その他の流動負債の減少1,992百万円、法人税等の支払額2,918百万円などにより、345百万円の支出（前年同期は4,140百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出4,253百万円、有価証券の売却及び償還による収入7,249百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出4,830百万円などにより、1,922百万円の支出と、前年同期に比べ2,730百万円の支出減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出5,134百万円、配当金の支払額3,586百万円などにより、9,214百万円の支出と、前年同期に比べ5,362百万円の支出増加となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より12,256百万円減少し、36,324百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

売上高は、宝酒造、宝酒造インターナショナルグループ、タカラバイオグループが、通期の想定為替レートの変更（注）を行った影響も含め、いずれも計画未達となる見込みでありますので、期初予想より6,000百万円下方修正しております。

利益面につきましては、売上高の計画未達に加え、原材料価格のアップや、為替変動により海外での仕入コスト等が上昇したこととともない、売上総利益も計画を下回ることから、販売費及び一般管理費の圧縮に努めるものの、営業利益および経常利益は期初予想より1,500百万円下方修正しております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損益が改善する見込みでありますので、期初予想より300百万円下方修正しております。

（注） 前回発表時予想レート	1USD=108.00円	1EUR=125.00円	1GBP=145.00円
今回予想レート	1USD=108.30円	1EUR=121.30円	1GBP=134.50円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,415	42,882
受取手形及び売掛金	59,780	59,387
有価証券	16,089	7,136
商品及び製品	40,600	40,682
仕掛品	1,341	1,853
原材料及び貯蔵品	4,093	4,448
その他	4,006	5,077
貸倒引当金	△315	△329
流動資産合計	175,011	161,139
固定資産		
有形固定資産	60,576	66,751
無形固定資産		
のれん	12,400	11,608
その他	7,514	7,021
無形固定資産合計	19,914	18,630
投資その他の資産		
投資有価証券	26,143	26,299
その他	5,520	4,616
貸倒引当金	△60	△62
投資その他の資産合計	31,603	30,854
固定資産合計	112,094	116,236
資産合計	287,106	277,375
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,374	15,348
短期借入金	9,960	4,690
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	10,224	7,419
未払費用	5,809	4,876
未払法人税等	1,879	1,471
賞与引当金	2,579	2,684
販売促進引当金	1,921	2,025
その他の引当金	180	85
その他	8,891	9,642
流動負債合計	57,822	53,245
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	5,415	5,479
退職給付に係る負債	8,757	8,789
長期預り金	5,337	5,325
その他	4,977	5,781
固定負債合計	49,489	45,375
負債合計	107,311	98,620

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,417	2,417
利益剰余金	124,788	125,644
自己株式	△1,368	△1,368
株主資本合計	139,064	139,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,814	9,938
繰延ヘッジ損益	114	63
為替換算調整勘定	△196	△2,234
退職給付に係る調整累計額	△599	△619
その他の包括利益累計額合計	9,133	7,148
非支配株主持分	31,597	31,686
純資産合計	179,795	178,754
負債純資産合計	287,106	277,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	133,987	137,502
売上原価	81,332	84,468
売上総利益	52,655	53,033
販売費及び一般管理費	44,495	45,410
営業利益	8,159	7,623
営業外収益		
受取配当金	312	339
その他	293	519
営業外収益合計	605	859
営業外費用		
支払利息	182	203
為替差損	46	186
その他	292	221
営業外費用合計	521	612
経常利益	8,243	7,871
特別利益		
受取補償金	—	38
貸倒引当金戻入額	4	—
その他	3	2
特別利益合計	7	40
特別損失		
固定資産除売却損	99	181
投資有価証券評価損	—	68
災害による損失	137	—
損害賠償金	—	38
その他	41	3
特別損失合計	278	291
税金等調整前四半期純利益	7,972	7,620
法人税、住民税及び事業税	2,659	2,288
法人税等調整額	△195	46
法人税等合計	2,464	2,335
四半期純利益	5,508	5,285
非支配株主に帰属する四半期純利益	930	911
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,578	4,374

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,508	5,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	123
繰延ヘッジ損益	323	△51
為替換算調整勘定	△2,989	△2,571
退職給付に係る調整額	2	△13
その他の包括利益合計	△2,584	△2,511
四半期包括利益	2,924	2,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,641	2,389
非支配株主に係る四半期包括利益	283	384

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,972	7,620
減価償却費	3,183	3,364
のれん償却額	429	424
受取利息及び受取配当金	△402	△472
支払利息	182	203
災害損失	137	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,108	△32
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,566	△1,662
仕入債務の増減額 (△は減少)	5	△831
未払酒税の増減額 (△は減少)	1,747	△2,805
未払消費税等の増減額 (△は減少)	86	△1,397
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△292	△1,992
その他	101	△137
小計	8,477	2,282
利息及び配当金の受取額	399	489
利息の支払額	△193	△197
法人税等の支払額	△4,543	△2,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,140	△345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,632	△2,454
定期預金の払戻による収入	3,917	2,505
有価証券の取得による支出	△5,190	△4,253
有価証券の売却及び償還による収入	5,711	7,249
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,956	△4,830
その他	△502	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,653	△1,922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△247	△5,134
配当金の支払額	△3,187	△3,586
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△82	—
その他	△334	△494
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,851	△9,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	△744	△773
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,109	△12,256
現金及び現金同等物の期首残高	49,341	48,580
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,231	36,324

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(以下、「ASU第2014-09号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。ASU第2014-09号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、約束した財またはサービスが顧客に移転された時点で、当該財またはサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している在外子会社において、IFRS第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

これに伴い、借手は、原則としてすべてのリースについて、適用開始日に資産および負債を認識しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	72,908	37,358	17,122	127,389	6,597	133,987	0	133,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	351	168	248	767	9,474	10,241	△10,241	—
計	73,259	37,527	17,370	128,157	16,071	144,228	△10,241	133,987
セグメント利益	2,275	2,434	2,623	7,334	955	8,289	△129	8,159

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去13百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△143百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	74,777	40,307	16,449	131,534	5,962	137,497	4	137,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	358	170	0	529	9,807	10,336	△10,336	—
計	75,135	40,477	16,450	132,063	15,770	147,833	△10,331	137,502
セグメント利益	2,082	1,565	3,035	6,682	1,081	7,764	△140	7,623

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益は、セグメント間取引消去13百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△154百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2019年11月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること、及び会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことについて決議いたしました。

1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

「宝グループ中期経営計画2019」に掲げる「健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによってROEを向上させ、適正な株価水準を実現する」という財務方針に基づき、資本効率の向上を図るとともに、1株当たりの株主価値を高め、株主の皆様への利益還元を充実させるために、自己株式の取得を行います。

また、これに合わせ、当社の自己株式の保有方針に則り、自己株式の消却を行うものであります。

2. 自己株式の取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得しうる株式の総数 | 200万株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.00%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 20億円 (上限) |
| (4) 株式の取得期間 | 2019年11月18日から2020年1月17日まで |
| (5) 株式の取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

3. 自己株式の消却の内容

- | | |
|---------------|------------------------------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の総数 | 200万株
(消却前の発行済株式総数に対する割合 0.99%) |
| (3) 消却日 | 2020年1月31日 |